

トピックス

「CEATEC JAPAN 2005」へ出展

2005年10月4日から8日までの5日間、「富士通アクセスは、ユビキタス社会を支えています。」をキャッチフレーズに、幕張メッセで開催された「CEATEC JAPAN 2005」に富士通株式会社と共同出展しました。

当社ブースはアクセスネットワーク機器、監視制御機器、パワーエレクトロニクス機器の製品紹介およびデモンストレーションを行いました。これまでの「ブロードバンドアクセスは富士通アクセスにお任せください！」を発展させ、ブロードバンドと監視を融合させた先端技術への取り組みをアピールし、当社の最新技術を情報発信することができました。

本展示会は、来場者数が年々増加しており、2005年度は20万人近くの来場者があり、特に初日には皇太子殿下がご視察され大変盛況でした。



トヨタ生産方式への取り組みについて

株式会社富士通アクセスプロダクツは、高品質な製品を・安い価格で・お客様が必要なときに提供できるよう、トヨタ生産方式の導入に取り組んでおります。無駄作業の撤廃・リードタイム短縮・棚卸資産圧縮への取り組みについて、紹介いたします。

背景

FTTH端末（宅内設置用光通信機器）の需要が伸び、更に機種が多様化（メディアコンバーター・GE-PONなど）が始まりました。これに対応するために、従来の大量受注による大ロット生産方式から、少量・短納期生産の実現が必要になっています。

現在の取り組み状況

1) 2S（整理・整頓）によるスペース半減活動

少量・短納期生産に対応できるよう、製造フロアをコンパクトにし、流れる製品に合わせてフレキシブルに製造ラインを変更できるよう、スペース半減を実現しました。

2) FTTH 端末製品の専用製造ラインの構築

製作・試験・梱包までの一貫ラインを構築し、一個流し生産を実現しました。

今後の取り組み

1) リードタイム短縮

FTTH 端末製品では、お客様の要求（少量・短納期生産）にタイムリーにお応えすることを可能とします。

2) 在庫の圧縮

少量・短納期生産を実現することで工場内の無駄な在庫をなくします。

3) 他機種への展開

FTTH 端末製品の一貫製造ラインでの実績を基に、その他の機種へ展開します。また、多機種混流の一個流しに挑戦していきます。

工場内の無駄をなくすことで、常に安定した作業で高品質なものを・必要な数だけ無駄なく製造し・お客様の必要なときにお届けすることができるようになります。リードタイム短縮・棚卸圧縮の実現を目指し、損益改善に寄与したいと考えております。